

スズキ、2016年3月期第2四半期決算を発表

— 増収増益・各利益過去最高、中間配当5円増配 —

1. 第2四半期決算の業績概況

当第2四半期の連結売上高は1兆5,555億円と前年同期に比べ1,248億円(8.7%)増加しました。国内売上高は軽自動車税増税の影響やOEM売上の減少により5,000億円と前年同期に比べ207億円(4.0%)減少しました。海外売上高はインドでの四輪車の売上増加等により1兆555億円と前年同期に比べ1,455億円(16.0%)増加しました。

連結利益の面では、営業利益はインドでの増益等により1,011億円と前年同期に比べ106億円(11.7%)の増加、経常利益は1,121億円と前年同期に比べ149億円(15.3%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の発生などにより791億円と前年同期に比べ252億円(46.5%)の増加となりました。

なお、中間配当金につきましては1株につき前回予想より5円増配し、15円(前年中間配当10円)とさせていただきます。

2. 各セグメントの状況

四輪車事業につきましては、国内売上高は軽乗用車「ワゴンR」、「スペーシア」、軽商用車「キャリイ」等の燃費改善、小型乗用車「ソリオ」、「ソリオバンディット」のフルモデルチェンジなど商品力を強化し拡販に努めてまいりましたが、軽自動車税増税の影響やOEM売上の減少により、前年同期を下回りました。海外売上高はインドやパキスタンでの増加等により前年同期を上回りました。この結果、四輪車事業の売上高は1兆3,959億円と前年同期に比べ1,197億円(9.4%)増加しました。営業利益はインドでの増益等により945億円と前年同期に比べ87億円(10.1%)増加しました。

二輪車事業につきましては、売上高は欧州やインドでは増加しましたが、インドネシアでの減少等により1,233億円と前年同期並みとなりました。営業利益は前年同期の営業損失2億円から営業損失12億円となりました。

特機等事業の売上高は米国での船外機の売上増加等により363億円と前年同期に比べ53億円(17.3%)増加しました。営業利益は78億円と前年同期に比べ29億円(58.5%)増加しました。

所在地別の営業利益につきましては、日本は研究開発費、減価償却費の増加等により前年同期に比べ168億円(27.9%)減少しましたが、アジアがインド、パキスタンでの四輪車の売上増加等により550億円と前年同期に比べ277億円(101.1%)増加しました。

3. 連結業績予想

連結業績予想につきましては、当第2四半期の実績を反映するとともに、販売台数等を見直し、以下の通り修正いたします。当社グループは一丸となってあらゆる分野での改革に取り組み、連結業績予想以上を達成すべく事業活動を展開してまいります。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆1,000億円	(前期比 2.8%増)
営業利益	1,950億円	(前期比 8.7%増)
経常利益	2,050億円	(前期比 5.5%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,250億円	(前期比 29.0%増)
(為替レート) 1米ドル=118円、1ユーロ=130円、1インドルピー=1.88円、 100インドネシアルピア=0.90円、1タイバーツ=3.53円		

以上